

平成19年11月22日

各位

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ

親和銀行における不祥事件の発生について

本日、当社の子会社である株式会社親和銀行が、別添のとおり 不祥事件の発生についてニュースリリースを公表しました。

当社は、かかる不祥事件の発生を厳粛に受け止め、当社グループ全体の内部管理態勢の充実・強化に努めてまいります。

株主の皆様ならびに関係の皆様方にご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

以上

平成19年11月22日

各 位

株式会社 親和銀行

不祥事件の発生について

この度、親和銀行におきまして、下記の不祥事件が発生いたしました。

当行は、コンプライアンスを経営の最重要課題のひとつと位置づけ、不祥事件再発防止に向けて様々な取り組みを行なってまいりましたが、かかる不祥事件を発生させたことを厳粛に受け止め、深く反省をいたしております。

また、日頃からご支援とご愛顧を賜っておりますお客様、地域の方々、ならびに関係の皆様方にご迷惑をおかけしましたことを、心からお詫び申し上げます。

記

1. 事件の概要

平成19年10月、相浦支店元行員(40才・男性・係長)がお客様からお預りしていた預金2百万円を着服していたことが判明いたしました。

平成18年7月以降判明までの間に、お客様から必要のない払戻請求書をお預りし、不正に預金を引き出す等の手口を繰り返しておりました。

被害に遭われたお客様には、速やかに事実関係をお伝えするとともに、深くお詫び申し上げます、正常なお取引に戻しております。なお、着服金につきましては、本人から全額弁済を受けております。

事故者につきましては、平成19年11月9日付けにて、懲戒解雇処分といたしました。

また、本件につきましては、既に警察への通報を行っております。

2. 今後の対応

事務取扱いの厳正化等内部管理態勢の充実・強化を図るとともに、信頼回復に向けて、職員一同、全行あげて全力で取り組んでまいります。

以 上